

「健康(幸)なまちづくり都市宣言(仮称)」と

「健康(幸)」をキーワードとする都市づくり

■「健康(幸)なまちづくり都市宣言(仮称)」について

今まで取り組んできた健康施策を盛り込みながら、狭い意味の健康ではなく「健全な心とからだ」や「幸せ感」といった広義の健康を実感できるまちづくりをすすめ、市の姿勢を表明するための「健康(幸)なまちづくり都市宣言(仮称)」を平成 31 年秋を目指して検討する。市民の意見を取り入れながら、市民と一緒に宣言への機運を醸成し、「健康(幸)」をキーワードとする都市づくりを進めていく。

■健康の定義について(WHO)

健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう。

■健康日本 21(厚生労働省)

理念：21 世紀における国民の健康寿命の延長を実現するための健康施策

目的：社会からみると病気や障害による社会的な負担を減らし、国民の健康寿命を延長して、活力のある持続可能な社会を築くこと。病気予防の重点は早世に置くべき。個人からみると早世と障害を予防し、生活の質を高めることによって、実り豊かで満足できる生涯づくりを目指すこと。

■健康に関する市町の取組

1. 「健康都市連合」

健康都市連合は、WHO の呼びかけで 2003 年に創設。都市に住む人の健康を守り、生活の質を向上させるため健康都市に取り組んでいる都市のネットワークを広げることで、各都市の経験を生かしながら、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としている。2017 年 10 月現在 10 国から 178 都市 44 団体が加盟しており、日本からは 38 都市 4 団体が加盟。

2. 「スマートウェルネスシティ」を目指すまちづくり(69 区市町加入)

「ウェルネス(=健幸：個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことのできること)」をこれからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す。

長浜市が目指す健康(幸)なまちとは？

何をを目指すのか？

市民が健康の大切さを認識し、健康を意識した生活を皆が送ることで幸せを実感するまち

幸せとは？

自分の命そして周りの人の命を大切にし、生きがいを持って子どもから大人まで誰もが生きること
に誇りを持てるまち

ながはまらしい健康(幸)の定義は？

人と人とのつながりが強く、古からの結の暮らし、市民の力が今も保たれているまち